

安全就業ニュース

公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会

安全・適正就業強化月間

◎ 国が実施する「全国安全週間」にあわせ、7月は「安全・適正就業強化月間」の月です。

職員・会員の皆さん全員で組織をあげて、事故の撲滅を図り「安心・安全」のシルバー事業の発展を図りましょう。

◎ 「安全・適正就業強化月間」の期間

平成25年7月1日から7月31日

◎ 全国統一スローガン

「安全は 一声かける ゆとりから」

(平成23年度から平成25年度までの全国統一スローガン)

◎ 主な取り組み

[シルバー人材センターで取り組む事項]

- 1 安全・適正就業委員会の開催、「安全・適正就業対策基本計画」の策定及び事故の要因分析と防止策の徹底
- 2 重篤事故につながる就業の見直し
 - ① 危険・有害な作業は受託しないこと
 - ② 作業別安全・適正就業基準に掲げる安全保護具の完全着用の徹底を図ること
なお、安全帽・安全带等の安全保護具を未着装のもと就業された場合、申し合わせによって違反者には就業停止等の処置を講じるなど安全就業の徹底を図ること
 - ③ 健康チェックや健康講話等の実施、健康診断の積極的な奨励などの健康増進策を図ること

- 3 損害賠償責任保険事故の防止
- 4 就業途上における交通事故の防止
 - ① 交通安全に関する講習会の実施及び交通安全対策の徹底
 - ② 事故多発エリアのロードマップ等の作成
 - ③ 徒歩、自転車及びバイクでの事故の防止の徹底
- 5 安全就業対策の総点検の実施
 - ① 就業前、就業後の安全意識等の徹底
 - ② 機械器具の徹底点検
 - ③ 安全保護具の点検と整備
 - ④ 巡回パトロールの重点実施
 - ⑤ 就業現場の総点検
 - ⑥ 交通安全対策の徹底
- 6 安全・適正就業の研修及び点検
 - ① 安全就業に係る事例発表を含む研修会、講習会等の実施
 - ② 適正就業に係る事例発表を含む研修会、講習会等の実施
 - ③ 自主点検表による受注内容・就業実態の点検などによる適正就業に向けた改善
 - ④ 契約書等の適正なる締結
- 7 会員からの安全標語の募集、センター・施設・就業現場等への安全標語、垂れ幕、ノボリ等の掲示などによる会員すべての安全意識の徹底
- 8 会報等への安全意識啓発のための特集記事の掲載
- 9 会員に対して安全意識啓発及び情報の共有化を図るための資料等の配布など
- 10 月間中における「安全意識高揚の日」の設定及び安全表彰の実施

[シルバー人材センター連合本部で取り組む事項]

- 1 シルバー人材センターに対する安全就業対策等の指導・助言
- 2 安全大会の実施及び安全表彰の実施
- 3 安全・適正就業に関する研修会、講習会等の実施
- 4 巡回パトロールの実施
- 5 シルバー人材センターの月間行事の実施についての指導・援助

◎ 取組後の見直し等の実施

月間での取組の実施結果について、点検・見直し等を行い、安全就業の徹底に努めましょう。

平成25年度安全就業優秀・優良シルバー人材センター等が決定しました

平成 25 年度安全就業優秀・優良シルバー人材センター等は、6月3日開催の安全就業優秀・優良シルバー人材センター等選定委員会において下表のとおり決定しましたのでお知らせします。受賞されました団体の皆様、誠におめでとうございます。

なお、優秀賞・優良賞、優良連合賞の各団体は、中野サンプラザにおいて6月20日開催の25年度全シ協定時総会で表彰いたします。

(優秀賞)

ブロック名	都道府県名	団 体 名
関 東	茨 城 県	<small>とつかいむら</small> 公益社団法人東海村シルバー人材センター
関 東	神 奈 川 県	<small>よこはまし いそごじむしょ</small> 公益財団法人横浜市シルバー人材センター磯子事務所
関 東	神 奈 川 県	<small>やまとし</small> 公益社団法人大和市シルバー人材センター
東 海	岐 阜 県	<small>たじみし</small> 公益社団法人多治見市シルバー人材センター

(優秀賞 計4団体)

(優良賞)

関 東	埼 玉 県	<small>くまがやし</small> 公益社団法人熊谷市シルバー人材センター
関 東	埼 玉 県	<small>とだし</small> 公益社団法人戸田市シルバー人材センター
関 東	神 奈 川 県	<small>あやせし</small> 公益社団法人綾瀬市シルバー人材センター
北 信 越	新 潟 県	<small>かしわざし</small> 公益社団法人柏崎市シルバー人材センター
北 信 越	富 山 県	<small>おやべし</small> 公益社団法人小矢部市シルバー人材センター
東 海	愛 知 県	<small>こうたちょう</small> 公益社団法人幸田町シルバー人材センター
近 畿	滋 賀 県	<small>まいぼらし</small> 公益社団法人米原市シルバー人材センター
近 畿	京 都 府	<small>せいかちょう</small> 公益社団法人精華町シルバー人材センター
中 国	広 島 県	<small>ひがしひろしまし</small> 公益社団法人東広島市シルバー人材センター
中 国	山 口 県	<small>くだまつし</small> 公益社団法人下松市シルバー人材センター
四 国	徳 島 県	<small>かみいたちょう</small> 上板町シルバー人材センター
九 州	鹿 児 島 県	<small>いさし</small> 公益社団法人伊佐市シルバー人材センター

(優良賞 計12団体)

(優良連合賞)

ブロック名	都道府県名	連 合 名
東 北	山 形 県	<small>やまがたけん</small> 公益社団法人山形県シルバー人材センター連合会
中 国	山 口 県	<small>やまぐちけん</small> 公益社団法人山口県シルバー人材センター連合会

(優良連合賞 計2団体)

合計 18団体

(安全就業優秀・優良シルバー人材センター等選定委員会)

平成 25 年 6 月 3 日 於：全シ協会議室



熱中症に気をつけましょう！！

梅雨の季節となり、毎日うっとうしい日々が続いております。

また、夏日となる日もあり、会員さんの就業時などの暑さ対策について気をつけなければなりません。

そこで、今回は、熱中症について取り上げてみました。

熱中症とは

熱中症は、高温多湿な環境下で、体内の水分や塩分のバランスが崩れたり、体内の調整機能がこわれるなどして発症する障害の総称です。

症状は、めまい、筋肉痛、大量の発汗などで、時には死亡に至ることもあります。体表から熱を放出しようと体表近くに血流が集中し、脳への血流が減少すると、めまいやふらつき、失神などが起こります。発汗によって脱水がひどくなると疲労感や倦怠感を感じますし、水分とともに塩分が失われ、血液中の塩分濃度が低くなり過ぎると、筋肉が硬直(けいれん)する場合があります。そして、さらにこのような状態が悪化すると、体温調節機能をつかさどる脳の視床下部の働きが破たんし、高体温と同時に、意識障害や全身けいれんなどを引き起こし、死に至る場合があります。

また、午後2時から午後4時の間に多く発生しており、炎天下の屋外作業だけでなく、屋内作業でも発生します。気温、湿度が高い今の時期は、特に熱中症の発症する危険が高まります。

以下のポイントを守り、熱中症を予防しましょう！

熱中症を予防するポイント

- ① 日頃から睡眠を十分にとり、体調に気を配る。朝食抜きは厳禁
- ② 作業前・作業中・休憩時などに水分をこまめにとる。大量に汗をかく場合は、塩分もとる。

- ③ 就業場所の風通しに配慮する。
- ④ 服装は、通気性や吸湿性の良いものを身につけ、高温下では頭部や首筋に冷やしたタオルを巻いたり、屋外では帽子をかぶる。
- ⑤ 冷房のある施設や日陰などの涼しい場所で、休憩を十分にとる。
- ⑥ 屋外での単独作業の場合は、定期的に連絡をとる。

<暑くなる前の対策>

暑さに慣れるため、からだを動かして汗をかく習慣を続けると、汗の量や皮膚の血流量が増え、暑さに適応するからだになります。本格的に暑くなる前から行い、暑さに備えましょう。

<暑くなってからの対策>

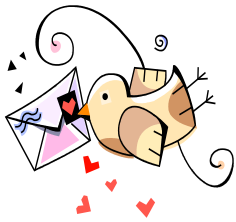
気温が高いときの、屋外や冷房のない屋内での身体活動は、体温上昇や脱水の程度が大きいため、熱中症が発生しやすくなります。高温環境での身体活動の原則は、「頻繁な休憩と水分補給」を行い、絶対に無理をしないことです。

☆熱中症が発生したら☆

一緒に働いている会員さんの気分が悪くなるなど、熱中症が発生したときは、すぐに涼しい場所で衣類をゆるめて安静にさせ、スポーツドリンクなどの水分を与えます。水分を自力で摂取できない、呼びかけに応じない、意識がない場合は、直ちに救急隊を要請し、医療機関に搬送します。

これから夏に向けて本格的な暑さを迎えます。
その前に、環境面や体力面からの熱中症予防対策を始めることが肝要です。
また、屋外作業時には会員同士お互いに気を配り、安全に就業していただきたいと思えます。正しい知識、適切な予防策、応急措置で、熱中症の予防対策を徹底して行い、熱中症を予防しましょう！

(参考文献 中央労働災害防止協会 「安全衛生かべしんぶん」、「安全衛生のひろば」)



安全リレー

広島県における安全就業の取り組み

■ 広島県連合の実績（平成25年3月末現在）

- 団体数 21 団体
- 会員数 15,636 人
- 受注件数 93,005 件
- 契約金額 6,695,429 千円
- 就業延人員 1,493,474 人日
(※ 派遣事業実績含む)

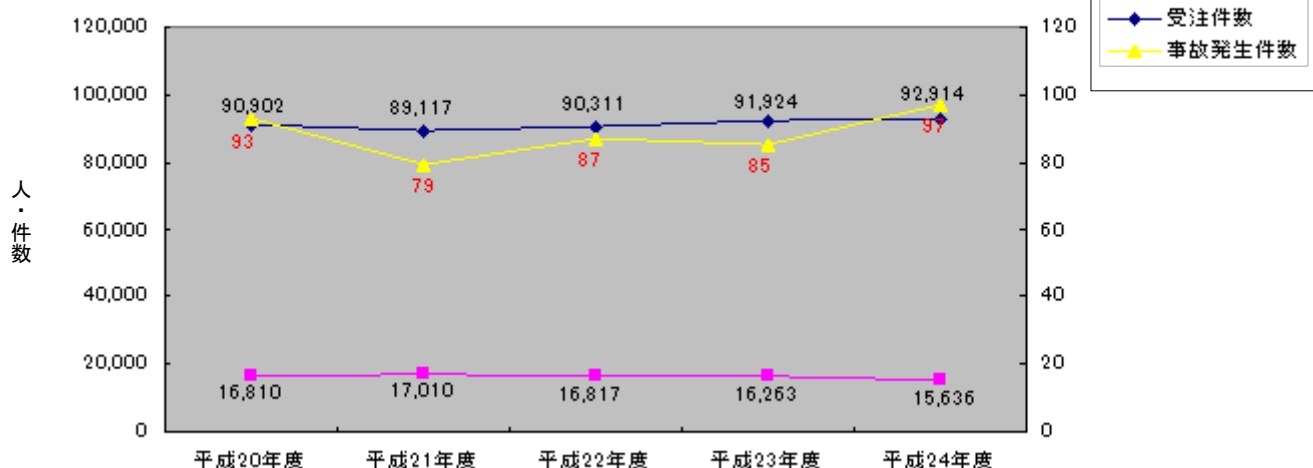
■ 広島県内の事故発生状況

本県における平成24年度統計によると傷害事故の発生件数は、23年度より12件多い97件、度数率では1.69多い13.14、強度率では0.63少ない0.86であり、重篤事故は、0件でした。

直近5年間の会員数・受注件数と事故発生件数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
会員数	16,810	17,010	16,817	16,263	15,636
受注件数	90,902	89,117	90,311	91,924	92,914
事故発生件数	93	79	87	85	97

会員数・受注件数と事故発生件数の推移



■ 連合会における安全・適正就業の取組み

広島県連合の安全・適正就業対策推進事業の実施にあたっては、「安全はすべてに優先する」の観点から、会員の安全就業はもとより、就業途上の交通安全を含めた事故防止対策について、事業計画の重点事項として組織をあげて取り組んでいます。

(1) 安全就業対策委員会の開催

当連合会では、活動拠点の事務局長・職員 4 名及び連合本部職員 3 名で構成する安全就業対策委員会を設置しており、この会議を 6 月 6 日に開催し、「平成 24 年度安全就業関係事業計画」の中で安全就業担当者研修会、安全就業パトロールの実施について協議しました。

(2) 安全パトロールの実施

安全就業対策委員による各活動拠点の巡回パトロールを年 2 回実施し、各作業現場における安全就業確認及び安全就業対策等の取組み状況の聴取を行っています。



平成 24 年度 巡回パトロール

- 7 月 広島市 SC、三次市 SC、東広島市 SC、
廿日市市 SC、世羅町 SC
- 10 月 三原市 SC 庄原市 SC、安芸太田町 SC、
北広島町 SC、神石高原町 SC 計 10 拠点

(3) 「安全・適正就業強化月間（7月）」における取組み

連合本部・活動拠点における安全・適正就業強化月間の取組みとして、次の会議・研修会を実施し、安全・適正就業についての再確認を行いました。

◎ 安全・適正就業推進員会議の開催

日時 平成 24 年 7 月 4 日（水）

参加者 43 名



- 議 題
- ・平成 24 年度安全就業優秀シルバー人材センターの表彰について
 - ・平成 24 年度安全・適正就業強化月間の実施計画について
 - ・平成 23 年度シルバー人材センターにおける事故発生状況の分析について
 - ・適正就業に係る労働局の指導・調査について

講 演 「派遣労働者の安全衛生について」

講師：広島労働局 労働基準部 健康安全課

主任地方労働衛生専門官 歳秀 正行 氏

分科会 「適正就業の取組みについて」

◎ 安全就業担当者研修会

(福山会場)

(広島会場)

日 時 平成 24 年 7 月 13 日 (金)

平成 24 年 7 月 18 日 (水)

参加者 39 名

67 名

内 容 ・ 講演 福山会場：「熱中症について」

高蓋労働安全コンサルタント 代表 高蓋 功一 氏

広島会場：「高齢労働者の健康管理－熱中症の対処と予防－」

広島大学大学院医歯薬保健学研究院 教授 小林 敏生 氏

・発表 「安全就業優良賞受賞から優秀賞受賞までの取組みについて」

(公社) 府中市シルバー人材センター 事務局長 前原 裕吉 氏

・報告 平成 23 年度シルバー人材センターにおける事故発生状況の分析について



(4) 「活動拠点」における安全・適正就業対策の相談・支援

活動拠点の安全・適正就業対策を支援するため、連合会安全就業対策委員を派遣して安全等の啓発を行いました。

派遣日	派遣者	派遣先	講演内容
平成 24 年 10 月 10 日	連合会 事務局長 小野 孝明	廿日市市 S C	高齢者の安全就業について

(5) 「ヒヤリ・ハット体験事例集」の作成・発行

「ヒヤリ・ハット体験事例集」を 1, 0 0 0 部作成、活動拠点に配付し安全就業対策に努めました。



■ 活動拠点における安全・適正就業の取組み

公益社団法人 竹原市シルバー人材センター

古くから塩田により栄えてきた竹原は、先人の英知と市民のたゆまぬ努力によって築きあげられた歴史・文化と風光明媚で温暖な瀬戸内の豊かな自然が共存しています。

瀬戸内の小島が映す美しいシルエット、奇岩が林立する霊峰黒滝の山並み、酒蔵から安芸の小灘といわれる銘酒の香りが漂う時代を超えて残る重厚な棒瓦の家並み、そして国民休暇村や湯坂温泉郷など魅力にあふれています。

広島空港や山陽自動車道、四国・しまなみ海道への海の玄関口竹原・忠海港など、交通アクセスの充実により、竹原市の機能性は大きく向上いたしました。その一方で、ゆとりや自然との共生など、人と環境を大切にするという新しい時代のながれが生まれ、現在では、福祉や環境、教育、街づくりなどあらゆる分野で地域が主体となった取組みが広がっています。



町並み保存地区



普明閣より町並みを望む

事業概要

1 実績

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
会員数	390人	413人	425人	388人	390人
受注件数	2,605件	2,793件	2,945件	3,151件	3,245件
就業実人員	286名	313名	326名	320名	312名
就業延人員	28,460人日	27,427人日	27,794人日	29,564人日	30,257人日
就業率	73.3%	75.8%	76.7%	82.5%	80.0%

2 役員数 理事 15名 監事 2名 合計 17名

理事会	(役員会)
理事部会	【 総務部会・組織部会・事業部会 】
監事会	
安全対策委員会・適正就業委員会	

3 事務局職員数

職員	2名	嘱託職員	3名	臨時職員	1名
----	----	------	----	------	----

4 主な事業活動内容

総会	年 1 回 (5月下旬)
理事会(役員会)	年 4 回 (理事会に先立ち、各専門部会で審議案件を検討)
理事部会	総務・組織・事業 (各部会年2回)
講習会	刈 払 い 機 年 1 回
	剪 定 年 2 回
	交 通 安 全 年 1 回
	各 種 外 部 講 習 年 1 回

安全・適正就業の推進

1 安全就業

会員の災害及び事故防止のため、安全対策委員会、安全就業推進員が中心となり、安全管理体制、事故防止措置、会員の健康管理、安全教育及び安全意識の普及啓発等を盛り込んだ安全計画を策定し推進している。

上記計画策定のため、安全就業に関する調査活動として、安全就業推進員による研修会を実施している。また、外部研修会に積極的に参加している。

- (1) 安全基準の周知徹底
- (2) 委員による巡回・指導体制の強化
- (3) 交通安全に対する啓蒙活動強化

安全対策重点項目

1月	意識改革	7月	安全就業強化月間
2月	作業環境整備	8月	熱中症
3月	服装	9月	剪定作業
4月	刈払機作業	10月	害虫対策
5月	機械器具点検	11月	保護具着装
6月	健康管理	12月	交通事故防止

2 適 正 就 業

公平・適正な就業と、就業機会の促進を図るとともに、未就業会員の解消に努めている。

適正な就業(指揮命令・混在作業の是正)を推進するため、請負・委任業務の自主点検を行っている。

- (1) 適正就業基準(ガイドライン)の周知徹底
- (2) 適正就業のチェック機能の強化
- (3) ローテーション就業と、ワークシェアリングの推進
- (4) シルバー派遣事業への積極的取組み

◎ 傷害・賠償事故

発生状況	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
傷害事故(件)	2	2	0	3	1
賠償事故(件)	3	9	3	3	3

剪定講習会(平成25年5月16日)



草刈り講習会(平成25年4月26日)



広島県シルバー人材センター連合会様、竹原市シルバー人材センター様からの報告でした。詳細にわたるご報告、誠にありがとうございました。

7月号の安全リレーは、群馬県長寿社会づくり財団様からの報告を予定しています。

平成 25 年度 5 月事故速報

重 篤 事 故

5 月は、6 件の重篤事故報告がありました(6 月 19 日現在)。

昨年度同月と比較してみると、昨年度の累計 6 件に比して、本年度は、10 件と 4 件増加しています。就業中では、本年度は昨年度の 1 件に比して 7 件の大幅な増加となっています。就業途上では、逆に本年度は昨年度の 5 件に比して 3 件の減少となっています。まだ本年度は 2 ヶ月しか経過していませんが、既に二桁の重篤事故件数となっています。組織を挙げて、今一度安全ルールを確認し、重篤事故の撲滅に努めてまいりましょう！

5 月分

平成 25 年度 5 月 累 計	就業中・ 就業途上	件数	内 訳				平成 24 年度同月累計					
			事故の程度		性別		計	事故の程度		性別		
			死亡	入院	男性	女性		死亡	入院	男性	女性	
就業中	7 (4)	4 (2)	3 (2)	6 (3)	1 (1)	就業中	1	0	1	1	0	
就業途上	3 (2)	2 (1)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	就業途上	5	4	1	3	2	
計	10 (6)	6 (3)	4 (3)	7 (4)	3 (2)	計	6	4	2	4	2	

↳ 対前年度比 166.7%

※ () 内は 5 月報告分

5月分報告内容

No.	性別等	仕事内容等	事故の状況	安全 帽	安全 帯	交通 手段
5	男 66 歳	就業途上 (入院)	徒歩で就業先へ向かう途中、凍結路面で滑って転倒し頭頂部を強打した。	—	—	徒 歩
6	女 79 歳	就業中 (死亡)	隣接する福祉施設境界のフェンス沿いを草取り作業中、福祉施設に入ってきた自動車に巻き込まれた。その後、病院に搬送されたが死亡した。	×	—	—
7	女 69 歳	就業途上 (死亡)	作業終了後の帰宅途上、信号機のある交差点を自転車で渡ろうと左側から進入したところ、対向車線から右折してきた車両にはねられた。その後、病院に搬送されたが死亡した。	—	—	自転車
8	男 78 歳	就業中 (入院)	脚立に登り剪定作業中、誤って脚立から転落し、頭をアスファルトにうち意識がなくなり救急車で搬送された。	×	×	—
9	男 79 歳	就業中 (入院)	高さ3m位のアオキの木の剪定中、2m位の所から足を踏み外して転落した。	○	×	—
10	男 75 歳	就業中 (死亡)	広場中央にある噴水付近の路上で清掃作業をしていたところ、ロータリーを走行してきたワンボックスカーにはねられた。その後、病院に搬送されたが死亡した。	—	—	—

1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故

5月は、就業中の事故17件、就業途上の事故5件と、合計22件の報告がありました。昨年同月の20件に比して2件の増加となっております。

累計を見ると、昨年度同月累計の40件に比して、本年度同月累計は49件と9件の大幅な増加となっております。特に、就業中10件と二桁の件数の増加となっております。就業中の事故においても、組織を挙げて、今一度安全ルールを確認し、事故の撲滅に努力して参りましょう。

平成25年度5月報告分

	仕事の内容	発生数(件)		男性(件)		女性(件)		平均年齢(歳)	
		5月	累計	5月	累計	5月	累計	5月	累計
就業中	植木・樹木の剪定等	6(6)	10(12)	6(6)	10(12)	0(0)	0(0)	71	71
	除草作業	4(1)	6(2)	4(1)	6(2)	0(0)	0(0)	73	74
	屋内・屋外清掃作業	1(1)	5(4)	1(1)	3(3)	0(0)	2(1)	87	75
	その他	6(4)	15(8)	5(3)	13(5)	1(1)	2(3)	74	72
	計	17(12)	36(26)	16(11)	32(22)	1(1)	4(4)	73	72
就業途上	徒歩	0(1)	3(1)	0(1)	3(1)	0(0)	0(0)	—	81
	自転車	4(5)	9(8)	0(3)	2(4)	4(2)	7(4)	76	74
	バイク	0(2)	0(3)	0(0)	0(1)	0(2)	0(2)	—	—
	自動車	1(0)	1(2)	1(0)	1(1)	0(0)	0(1)	75	75
	計	5(8)	13(14)	1(4)	6(7)	4(4)	7(7)	76	75
合計		22(20)	49(40)	17(15)	38(29)	5(5)	11(11)	74	73

()は平成24年度同月の発生件数

事故報告書(重篤事故、1ヶ月～6ヶ月未満の入院及び後遺障害の事故)は、その有無にかかわらず毎月8日までに必ず提出して下さい。

編集後記

このたび6月から研修・支援課長を拝命いたしました木田といいます。皆様とご一緒に丸となって実りあるシルバー事業を推進して行きたいと思っておりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

言うまでもなく、シルバー事業において最も重要なことが「安全」であり、「安全なくしてシルバー事業なし」といっても過言ではないかと思えます。

会員皆様お一人お一人が家を出かける際の何気ない「行ってらっしゃい」の言葉。それは無事元気で家族のもとに帰ってきてほしいとの願いや思いがこもった言葉であります。

このことは、一見平凡で日常のように思いますが、家族の幸せの原点ではないのでしょうか。

家族の幸せのためにも「安全ルール；基本」を守りましょう。

(木 田)

いよいよ梅雨の季節となりました。

梅雨期は雨の日が多くなり、地面等が大変滑り易くなるため、就業途上時においては、スリップ事故に繋がる危険性があります。また、屋外等での就業時では、不注意が事故へと結び付く可能性がありますので、十分に注意してください。

さて、今月は、熱中症について、特集しました。

一般的な事例として、作業に熱中するあまり、また、熱中症への認識不足などから熱中症の発症に気づくのが遅れ、症状が悪化してはじめて病院へ搬送される例も多いといわれています。会員の皆さまには、十分に注意していただき、会員同士お互いに注意を払い安全に就業してください。

また、生活習慣が乱れると、熱中症にかかりやすくなるようです。

生活習慣を整えることは、健康づくりの基本となり、安全就業のための基本にもなります。食事をきちんととること、夜更かしをせず睡眠を十分にとることなどがポイントになると思います。

他には、水分及び塩分をとるタイミングも大切だと思います。「のどが乾いたな」と感じたときでは遅く、乾きを感じるまえに補給することがポイントです。

じめじめした日々が続きますが、気持ちはできるだけ爽やかにゆとりを持って、毎日を快適に過ごしていただきたいと思います。

(中 嶋)

企画管理部研修・支援課長 木田 英裕 TEL：03(5665)8016(直通)
安全就業推進係長 中嶋 修 FAX：03(5665)8021

安全は 一声かける ゆとりから

頒布物のご案内

会員の皆様を対象にした「働くよろこび 会員のマナー」を発刊しております。研修会や講習会等で、ご活用いただければと思っています。



800 円（税込・送料込）
●A5 判●95 ページ

働くよろこび 会員のマナー

シルバー人材センター会員にとってなぜマナーが必要か、会員としての自覚をもってマナーを身につけよう、会員としてあなたの心配りを示すポイント、高齢者らしい上手な話し方で気持ちを正確に伝えましょう、電話による対応、5W・1H を覚えておきましょう。

安全就業のためのチェックポイント



会員が安全に就業するための要点をまとめたイラスト小冊子です。

- 安全就業の心得、身体機能変化を認識しましょう、健康管理
- チェックポイント①～⑨
- シルバー傷害・損害保険による事故の実態、蜂・蛇（刺され・噛まれ）等の防止、熱中症、保護具、便利なロープの結び方など

30 部以上、10 部単位の販売 頒布価格 200 円
（税込・送料込）
●A4 判／●29 ページ

お問い合わせ先

全シ協
企画情報課
TEL 03-5665-8013